

上毛町水道事業基本計画

水道事業基本計画の策定にあたって

安全で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給していくために、みなさんから回答をいただいた水道事業アンケートの結果を基に、「上毛町水道事業基本計画」を策定しました。この計画は、町の水道事業が今後どのように取り組むべきかなど、中長期的な視点で目標や事業の方向性を示しています。

現状の分析評価

町の水道事業における問題点は以下の4つです。将来的には、加入率の向上と老朽化した施設の更新、災害にも強い高度な水道システムの構築が必要となります。

低い水道普及率

上毛町の水道普及率は、平成 20 年度末現在 33.6%です。(全国の水道普及率は 97.5% 福岡県は 92.8%です)

原井簡易水道水源の濁質変化

原井簡易水道は、水源水量は安定しているものの、天候により濁質が変わりやすい状況にあります。

一時的な大量使用による水道施設への大きな負荷

新吉富簡易水道では、夏季のプールの水張りが一日最大給水量に大きく影響し、水道施設への大きな負荷が生じています。それを補う水源の確保が必要となっています。

原井簡易水道の低い有効率

原井簡易水道は、創設後 36 年を経過しており、老朽化した配水管や給水管からの漏水が増えています。このため、有効に使える水は配水量の、65.1%まで低下し、今後の更なる悪化が懸念されています。

将来像の目標の設定

町の将来人口は、少子高齢化の進展などにより、平成 20 年度の 8,286 人から、平成 32 年度は 7,460 人、平成 42 年度は約 6,700 人と、今後 22 年間で約 1,600 人の減少が予想されています。しかし、給水人口及び給水量については、給水区域の拡張により増加すると推計しています。

▶ 平成 20 年度の実績

給水人口：2,678 人
一日最大給水量：702m³/日

▶ 平成 32 年度の推計値

給水人口：3,980 人
一日最大給水量：1,010m³/日

▶ 平成 42 年度の推計値

給水人口：4,990 人
一日最大給水量：1,470m³/日

事業工程

中期目標計画：平成 32 年を計画目標年度として、現在確保可能な水源の範囲内で給水区域を拡張します。

長期目標計画：平成 42 年を計画目標年度として、給水優先度が高い地区に給水するための水源の確保と施設整備を目指します。

今後の整備計画

アンケートの結果、水道加入要望が強く、また、以前から給水区域の拡張計画があった成恒地区と緒方地区を最優先とし、下唐原西 2 区の一部、下田井・新谷の全域及び土佐井の一部を、順次整備していきます。

ただし、区域拡張については、地区の加入率や要望等を見極め、整備を実施していくものとします。